

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 若狭町社会福祉協議会	代表者	会長 山崎 和男	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・僻地診療や主治医と、細かな変化も情報共有することを心掛け、連携の充実を図っている。 ・自宅での暮らしを継続するために必要な「自分で出来ている事」を維持できるよう、その人らしさを大切にしながら見守り、必要なお手伝いのみ行う事を心掛けている。
事業所名	小規模多機能ホーム みさき	管理者	橋本 朋美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	1人	人	人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族へ「みさき介護通信」によって旬の介護情報をお届けする。 ・内部研修を充実させ職員のスキルアップに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族へタイムリーな介護情報を「みさき介護通信」として季節ごとに発行した。 ・「認知症介護実践者研修」の受講や内部研修を行い、職員のスキルアップに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族へ、旬の情報をお届けするのは良い事だと思う。 ・職員も入れかわったので資質向上に努めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も「みさき介護通信」でご家族への介護情報をお届けする。 ・外部研修や内部研修で、職員の資質向上に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も、お茶会や干物作りや地域の方に参加していただけるイベントで、利用者と地域の方との交流だけではなく、地域の方同士の交流しやすい場作りとなる様努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を招いてのお茶会や干物作りは自粛したが、散髪の日には地域の方も送迎し、利用者と地域の方との交流だけではなく、地域の方同士の交流しやすい場作りとなる様努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方にも参加していただける行事が再開できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止（人数制限など）を徹底し、お茶会や干物作りなどに地域の方を招待し、交流していただける行事を開催する。 ・どのような感染対策を行っているか「みさき通信」などで発信していく。 ・利用者様の好きなことや得意な分野を活かせるように過ごしていただく。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事に参加したり、地域の方を行事にお招きする事で、地域の方との交流を大切にし、気軽に「福祉相談」ができるような関係をつくっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染拡大防止のため、地域の行事には参加できなかった。 「みさき通信」に地域の方からの相談事例を掲載し、気軽に相談していただくきっかけになるよう情報提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規の利用があれば民生委員にも「この方が利用されます」と教えてもらえるとありがたい。 「みさき通信」が全戸配布で見てもらえるのは良いこと。「うちも利用してみようか」と思う人もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時や訪問時に、積極的に地域の方に声掛けをし、利用者や職員との温かいコミュニケーションに努める。 今後も「みさき通信」に地域の方からの相談事例を掲載し、気軽に相談していただくきっかけになるようにする。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、一人ひとりの会いたい人、行きたい場所、やりたい事を地域の方の協力も得ながら実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 天候の良い日に車椅子や歩いたの散歩を楽しんでいただき、通りすがりの地域の方との交流もできた。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策をしながら、以前からの友人とつながりが途切れないうのは良いことだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> なじみの地域で暮らし続けられるように、家族や地域との関係を大切にする。 地域の方から、利用者様の地域での生活や昔の活動などの話を聞き、みさきでの活動に活かす。 少人数での外出で、利用者様の行きたい場所ややりたいことを地域の方の協力を得ながら実現する。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進委員の方にイベントや行事のお知らせをし、足を運んでいただく機会をふやす。 	<ul style="list-style-type: none"> イベントへの声掛けでは、三密に気を付けながら、委員の方も参加して下さった。 	<ul style="list-style-type: none"> 開催時期や時間帯を調整して委員が出席できる機会が増えると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も運営推進委員の方にイベントや行事のお知らせをし、足を運んでいただく機会をふやす。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> 消防訓練や、大雪や災害時を想定した対応について、内部研修でもシュミレーションする。 	<ul style="list-style-type: none"> 内部研修で防災訓練を行った。日中独居になる利用者も、消火器の使い方の訓練を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に必要とされる「災害時も頼れる施設」であってくれればと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防訓練や、大雪や災害時を想定した対応について、内部研修を行う。 地域の防災訓練に参加する。